

令和元年度（2019年度）事業計画（案）

I 基本方針

- 本協議会においては、平成29年6月に策定した『北海道自動車産業集積促進アクションプラン2017-2020』に則り、『基幹部品生産と研究開発が両輪となった自動車産業の集積』に向けて、「部品の生産拠点形成を目指した取組」、「研究開発拠点形成を目指した取組」、「拠点形成を支える取組」の3つを柱とし、関係者連携の下、各般の取組を展開する。

II 事業内容

1 部品の生産拠点形成を目指した取組

＜＜企業誘致の推進＞＞

(1) 本道の立地環境の優位性に関する情報発信力等の強化

リスク分散や東日本におけるサプライチェーン完結の動きを捉えたトップセールスや産業集積コーディネーターを活用した戦略的なセールスなど積極的な誘致活動などに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----|---|---|
| 北海道 | 愛知県の異業種交流会 (メッセナゴヤ2019) への出展(11月) | 中京圏の企業に対し本道の立地環境や道内企業の技術力をアピールし、本道への企業立地を促進するため、「メッセナゴヤ2019」へ出展 |
| | 中京圏・東北地域での自動車関連企業OB等による企業情報の収集 | 中京圏・東北地域企業の投資案件や発注案件についての情報収集や道内の立地環境や技術情報の発信を通じてマッチング等を行うマッチングコーディネーター3名(自動車関連企業OB等)を中京圏・東北地域に配置 |
| | 大都市圏におけるメーカーOBによる投資情報の収集 | 大都市圏の業界にコネクションを有するメーカーOBによる本道への投資可能性がある企業訪問を行う産業集積アドバイザーを配置 |
| | 知事によるトップセールスをはじめとした企業訪問の実施 | 東北の自動車生産拠点化やリスク分散の動きを捉え、知事によるトップセールスや、道外事務所などによる企業訪問を実施 |
| | 北海道ビジネスフォーラムの開催 | 本道のビジネス環境をPRし、本道への立地や投資を促進するため、大都市圏においてフォーラムを開催 |
| | 企業立地への助成制度 | 企業立地の促進を図るため、北海道産業振興条例に基づき、新規立地・増設に対する助成 |

| | |
|---------------------|---|
| 自動車関連企業OB等のアドバイザー設置 | 自動車関連企業OB等の人材をアドバイザーとして活用し、その知識や人脈を活かした企業誘致活動や参入促進に向けた支援を実施 |
|---------------------|---|

(2) 新たな立地環境の優位性の発掘（コンテンツづくり）

本道の立地優位性を高めていくため、女性の活躍をはじめとしたものづくり産業を支える人材の育成・確保や物流の効率化、新たな視点や今後成長が見込まれる分野の企業誘致などを推進する。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|------------------|--------------------------------------|---|
| 北海道 | 次世代自動車関連ものづくり産業振興事業（ものづくり現場見学・出前授業等） | ものづくり現場の魅力を広くPRし、ものづくり産業を支える新たな人材を確保するため、大学生・高専生・高校生、教師、保護者を対象とした現場見学会や出前授業などを実施 <ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業の現場見学会（バスツアー） ものづくり企業の社員による学校での出前授業 |
| 北海道・（一社）北海道機械工業会 | 参入を支援する専門家の配置・派遣【再掲】 | 物流コスト低減に向けた専門家の配置 |
| | 参入事例等の普及 新 | 専門家の派遣により創出した参入等の成功事例を広く普及するセミナーの開催 |
| 北海道 | 健康・医療関連産業の立地促進（ヘルスケア産業競争力強化推進事業） | 道内の大学や研究機関との継続的な情報交換により、将来的に企業誘致に結びつく可能性のある研究シーズを把握するとともに、国内外の医療品、医療機器メーカー等への情報発信や企業訪問を実施 <ul style="list-style-type: none"> 北海道健康・医療研究シーズ集の作成 「バイोजパン2019」への出展によるPR、セミナーの開催（10/9～11 パシフィコ横浜） |
| | 航空機関連産業への参入に向けた支援 新 | 道内企業の航空機関連産業への参入促進を図るため、次の取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> セミナーや先進企業視察会の開催 技術講座の開催や専門家派遣による認証取得への支援 航空機関連メーカー等へ従業員を派遣研修する取組への支援 展示商談会への出展支援 |

(3) 進出企業へのフォローアップ

進出企業の課題・ニーズへの対応に向けて、訪問やメールマガジン等を活用した様々な情報提供など、フォローアップに努める。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----|---------------|--|
| 北海道 | 進出企業へのフォローアップ | <ul style="list-style-type: none"> 進出企業への訪問。（年間100社を目標） 業界との意見交換の開催 メールマガジン等を活用し、新たな支援制度をはじめ、各種施策情報を発信（現在約300社・団体に配信） |

＜＜地場企業の参入促進、域内取引の拡大＞＞

(1) 自動車関連産業への参入に向けたQCD対応力や新技術・新工法の強化

自動車産業が求める高いQCDへの対応力の強化に向けて、各種支援機関や進出メーカー、自動車メーカーOBなどの様々な力を動員し、地場企業の技術的課題解決などに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|---------------------|---|--|
| 北海道経済産業局 | ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 （「もの補助」） （平成30年度補正） | 国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援 |
| | ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金 （「もの補助」） （平成31年度予算） | 事業者間でデータを共有・活用することで生産性を高める高度なプロジェクト及び地域経済牽引事業計画の承認を受けて連携して事業を行う中小企業・小規模事業者等による設備投資等の一部を支援 |
| | 戦略的基盤技術高度化支援事業（「サポイン事業」） | 中小ものづくり高度化法の12分野を対象とした研究・開発から製品の販路開拓まで一貫して支援（補助率2/3 単年度あたり上限額4,500万円、3年間合計で9,750万円以下） |
| | 地域未来投資促進法による支援 | 地域の成長発展の基盤強化を図るため、地域の特性を活用して高い付加価値を創出し、地域内の事業者への経済的波及効果をもたらす事業（地域経済牽引事業）に対して補助金・税制等により集中的に支援 |
| （一社）北海道機械工業会・室蘭工業大学 | 高度技術研修「ものづくりセミナー」 | 室蘭工業大学と共同で道内ものづくり企業の技術力向上を図るセミナーを開催 |
| （地独）北海道立総合研究機構 | 共同研究・技術指導等 | 自動車関連の共同研究や技術指導等を実施 |
| | 自動車関連技術高度化支援 | 自動車関連部品の基本的な構造や技術トレンドを理解することにより、自動車関連産業への参加意欲を高め、企業の技術力向上や課題解決につなげる「自動車関連プロジェクト検討会」を開催 |
| | 生産管理自己診断システムの普及促進 | 企業自らが、自社の強み・弱みを総合的に把握・判断することができる中核人材（評価担当者）を育成するため「中核人材育成研修」を開催 |
| | 現場カイゼンのレベルアップを図るための個別指導 | コスト改善や納期短縮等に必要生産管理技術のレベルアップを図るため、自動車メーカーOB等による個別指導（「生産現場カイゼンモデル企業づくり」）を実施 |

| | | |
|-------------------------|---------------------------------------|--|
| | コスト改善のための知識・技術の普及を図るセミナーの開催 | コスト改善等に必要な知識・技術普及のため、「原価管理・コスト改善ゼミナール」を開催 |
| | 品質評価技術に関する研修の開催 | 製品品質に大きな影響を与える、製造部門や検査部門での作業ノウハウ伝承に効果的な技術について研修を開催 |
| | 製品開発支援に関する連続講座の開催 | 製品やサービスの高付加価値化等に向け、優れた企画立案や効率的な商品企画をマネジメントできる人材の育成を図るため研修等を開催 |
| (一財)日本規格協会 | 標準化、品質管理に関する講演開催等 | ものづくり企業の標準化と品質管理の実践を進めるため、講演会を開催するとともに、品質管理（QC）検定を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「標準化と品質管理北海道地区大会」 日程：令和元年10月18日 場所：北海道経済センター ・「品質月間特別講演会」 日程：令和元年11月15日 場所：道特会館 |
| 北海道・(公財)北海道中小企業総合支援センター | 製品開発、販路拡大等の支援 | 北海道産業振興条例に基づく製品開発等への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・市場対応型製品開発支援事業 製品開発、道外展示会出展、市場調査等への助成 |
| 北海道・(一社)北海道機械工業会 | 参入を支援する専門家の配置・派遣 | 自動車や食関連機械分野等の技術等に詳しい専門家を配置し、道内企業のQC D対応力の強化や自動車・食関連機械メーカー等への企画提案力に関する指導を実施 |
| 北海道・(一社)北海道機械工業会 | 参入事例等の普及 【再掲】 新 | 専門家の派遣により創出した参入等の成功事例を広く普及するセミナーの開催 |
| 北海道・(地独)北海道立総合研究機構 | AI・IoT、ロボット技術などを普及する講習会開催 新 | IOT製品・技術やAIを活用したデータ解析の高度化の普及を行うセミナー・研修会の開催 |
| | 生産管理・品質管理、見積もりコスト計算をテーマとしたゼミ等開催 | コスト改善や納期短縮等に必要な生産管理技術のレベルアップ、コスト改善に必要な知識・技術普及のためのゼミやセミナーの開催 |
| | 次世代自動車関連部品の分解・分析会の開催 | EVや燃料電池車などの次世代自動車関連部品の分解・分析会の開催 |

(2) 東日本地域のサプライチェーンなど道内外ターゲットとのマッチング

東日本地域のサプライチェーンなどをターゲットとした取引機会の開拓に向けて、東北7県とも連携しながら道内の優れた技術をアピールする展示会の開催などに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|--------------------------------------|---|---|
| (株)北洋銀行 | 「北洋銀行ものづくりテクノロジーフェア2019」の開催 | 優れた技術や製品を有する道内の中小企業、大学、支援機関や、東北など他県の企業等が一堂に会する商談会を開催 ・開催日：令和元年7月25日 ・出展予定：約230社・団体・来場予定：約5,000人 |
| (公財)北海道科学技術総合振興センター | 「第33回北海道 技術・ビジネス交流会」の開催 | 『新時代に挑む』をテーマに、企業・大学・試験研究機関の研究開発製品やノウハウをアピールする展示商談会を開催 ・開催日：令和元年11月7日～8日 ・目標：約350社・団体 |
| (公財)北海道中小企業総合支援センター ・(一社)北海道機械工業会 | 受発注拡大商談会の開催 | 発注企業と受注企業との、個別面談方式による商談会を道内で年2回、道外（首都圏）で年2回開催 ・道外：令和元年7月4日（青森・秋田・岩手・北海道合同） 令和元年10月16日（岩手・北海道合同） ・道内：令和元年10月16日（札幌開催） 令和2年2月（帯広開催） |
| 北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部 | 「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会 inSUBARU」の開催 新 | 東北7県との連携により、SUBARU社に道内技術を売り込む展示商談会を開催 「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会 inSUBARU」 ・開催時期：令和元年10月下旬 ・会場 SUBARU本社（群馬県太田市） |
| | 「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」の開催 | 「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」 ・開催時期：令和2年1月30日～31日 ・会場：トヨタ本社（愛知県豊田市） |
| 北海道 | 東北地域とのビジネスマッチングの実施 新 | 自動車生産拠点化が進む東北地域における自動車メーカーに対するビジネスマッチングの開催 |
| | 自動車関連企業OB等のアドバイザー設置【再掲】 | 自動車関連企業OB等の人材をアドバイザーとして活用し、その知識や人脈を活かした企業誘致活動や参入促進に向けた支援を実施 |
| | 道内進出企業の道内調達等に向けたマッチング | 道内大手進出メーカー等の調達に向けた動きを随時把握し、これに即応したマッチング等を実施 |
| | 中京圏・東北地域での自動車関連企業OB等による企業情報の収集【再掲】 | 中京圏・東北地域企業の発注案件や投資案件についての情報収集や道内の技術情報や立地環境の発信を通じてマッチング等を行うマッチングコーディネーター3名（自動車関連企業OB等）を中京圏・東北地域に配置 |

| | |
|--------------------------|--|
| 道内ものづくり企業をPRする冊子の作成 新 | 道内企業の技術力を発信するため、自動車産業にも活用可能な電気・電子分野の道内企業を掲載したガイドブックの作成 |
|--------------------------|--|

(3) 新たな分野への展開

本道が強みを有する食に関連する機械分野を重点として、自動車産業への参入に向けた取組の中で蓄積された高い技術・ノウハウを活かした関連機械の開発の促進などに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|------------------|--|---|
| 北海道 | 食関連ものづくり産業振興事業 新 | 食品メーカー等の生産性向上のニーズ把握や生産性向上に資する製品開発を行う食関連メーカーへの専門家派遣や展示会の出展 |
| | 健康・医療関連産業の参入促進(ヘルスケア産業競争力強化推進事業) 新 | 健康・医療関連分野への新規参入に向けた環境づくりや道内企業の技術力のアピールを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣や出展前の事前研修会の開催 ・地域の製品開発を促進するための発掘セミナー・意見交換会の実施(時期未定) ・企業現場見学会の開催 ・道内企業をPRするガイドブック作成 ・「国際福祉機器展出展」への道内企業出展の支援(9月25日～27日 東京ビックサイト) ・ヘルスケアIT展2020への道内企業出展の支援(1月27日～28日 東京ビッグサイト) |
| | 「健康・医療」関連分野における道内ものづくり企業の参入促進プロジェクトの実施 | ムービングサポートツール開発プロジェクトの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市立大学のデザイン総合実習で生まれたデザインやアイデアをきっかけとした、道内ものづくり企業による製品開発の取組を支援 |
| | 航空機関連産業への参入に向けた支援 【再掲】 新 | 道内企業の航空機関連産業分野への参入促進を図るため、次の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや先進企業視察会の開催 ・技術講座の開催や専門家派遣による認証取得への支援 ・航空機関連メーカー等へ従業員を派遣研修する取組への支援 ・展示商談会への出展支援 |
| 北海道・(一社)北海道機械工業会 | 参入を支援する専門家の配置・派遣【再掲】 | 自動車や食関連機械分野の技術等に詳しい専門家のほか、新製品開発やデザイン、生産管理・工程管理など、幅広いものづくり分野への参入や販路拡大に繋がる専門家の配置・派遣を実施 |

《次世代自動車を見据えたチャレンジ》

(1) 本道独自の電気自動車、燃料電池車等の普及や電気自動車の高度化を見据えた取組の展開

電気自動車、水素社会を見据えた燃料電池車等の普及や電気自動車の高度化を見据え企業や支援機関等の参画による北海道発EV研究開発・利活用研究会における本道独自の寒冷地仕様の電気自動車等の開発・利活用に関する検討などに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----------------|-------------------------------------|---|
| 中小企業基盤整備機構北海道本部 | 北海道発EV研究開発・利活用の検討 | これまでの販売実績や顧客ニーズを踏まえ、引き続き、公的機関や民間事業者等をターゲットに、更なるテスト販売を実施。また、営業経費等も含めた正確な製造原価を把握した上で、改めて事業性の見通しを判断する。加えて、補助金等を活用しつつ、乗車人員数の拡大、寒冷地仕様以外の他テーマに対応した新たな商品開発を実施し、充実したアフターサービス体制の必要性から、譲渡契約から短期レンタルやリース契約を中心とした営業展開を図る。 |
| 北海道経済産業局 | クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金 | 省エネ・CO2排出削減に貢献するだけでなく、災害時の電源としても活用することができる電気自動車や燃料電池自動車等のクリーンエネルギー自動車の導入を支援 |
| | 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ設備事業費補助金 | 電気自動車等の普及に不可欠な充電設備の設置に係る機器購入費と設置工事費の一部を補助 |
| | 燃料電池自動車の普及促進に向けた水素ステーション整備事業費補助金 | 世界に先駆けたFCVの自立的な普及を目指すため、水素ステーションの整備費用の一部を補助 |
| 北海道 | 次世代自動車の普及・PR | 道が保有する次世代自動車（燃料電池自動車）の試乗会や展示会を開催 |
| 北海道 | 環境産業関連製品技術開発振興事業 | 道内の省エネ・新エネ化や地域エネルギーの効率的利用を促進するため、環境関連製品の開発や事業化、技術開発及び実証等を行う事業に対して支援する。 製品開発：補助限度額 3,000千円 技術開発：補助限度額10,000千円 →補助対象経費の2/3又は3/4以内 |
| | クリーンエネルギー公用車の導入促進 | 7振興局（石狩、後志、胆振、渡島、留萌、宗谷、根室）にプラグインハイブリッド自動車（PHV）を導入し、普及啓発活動を行う。 |

2 研究開発拠点形成を目指した取組

＜＜自動走行の実証試験誘致＞＞

(1) 自動走行の実証試験の誘致の推進

研究開発面から本道への自動車産業の一層の集積を促進するため、自動走行の実証試験の適地提供・誘致などに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----|----------------|--|
| 北海道 | 自動走行車開発拠点化促進事業 | <p>自動走行の研究開発の円滑化や実証試験の促進に向けた取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官による「北海道自動車安全技術検討会議」の運営 ・道内での自動走行の実証試験を一層円滑に実施できるよう、公道走行ルートの情報提供及び走行試験等が可能な未利用地など非公道に係る情報を収集・提供 ・道外自動車部品企業等に対し、本道の実証フィールドとしての優位性をPRするための取組（展示会出展）を推進 ・国等が行う社会実証事業の誘致に向けた取組を推進 ・公道モデルコース・実証試験場の整備・誘致に向けた取組を推進 |

3 拠点形成を支える取組

＜＜人材の育成・確保＞＞

(1) 子ども、若者や女性などへのものづくり産業の正しい理解の促進

次代の担い手となる子ども、子ども、若者や女性などのものづくり産業に対する正しい理解の促進に向けた、ものづくりなでしこ応援プロジェクトなどに取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----|--|---|
| 北海道 | 次世代自動車関連ものづくり産業振興事業(ものづくり現場見学・出前授業等)【再掲】 | <p>ものづくり現場の魅力を広くPRし、ものづくり産業を支える新たな人材を確保するため、大学生・高専生・高校生、教師、保護者を対象とした現場見学会や出前授業などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり企業の現場見学会（バスツアー） ・ものづくり企業の社員による学校での出前授業 |
| | 2019サイエンスパークへの出展 | <p>「2019サイエンスパーク」において、小学生のものづくり産業への理解促進を図るため、ものづくり体験の実施や次世代自動車等をPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：令和元年7月30日 ・出展会場：札幌駅地下歩行空間ほか ・内 容：（仮称）北海道自動車・ものづくり産業ゾーンの設置 |

| | | |
|---|---|--|
| 北海道・(独)中小企業基盤整備機構 北海道本部 | 「札幌モーターショー2020」における道内ものづくり産業の技術等のアピール【再掲】 | 「札幌モーターショー2020」において、北海道発EV開発の取り組みをはじめとした道内ものづくり企業の技術力やものづくりの魅力などのPRを実施 |
| 北海道、(公財)自動車技術会北海道支部・関東支部、北海道EV研究開発・利活用研究会 | 次世代自動車の理解促進(イベント) | 自動走行やEVなど次世代自動車及び自動車産業等への理解促進を図るため、小学生及び保護者を対象に自動車の自動走行の仕組みの学習及び電気自動車の展示等を行うイベントの開催 ・日 時：令和元年10月19日 ・開催地：札幌市エレクトロニクスセンター |

(2) ものづくりを支える人材の確保や育成等

高度な技術・技能を有する人材の確保に向け、就業の促進に向けた合同企業説明会などマッチングの取組や研修など技術高度人材の育成に取り組む。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----|-----------------------|---|
| 北海道 | 多様な人材の安定就業促進事業 | 若年者、女性、中高年齢者といった多様な働き手のものづくり産業等への就業を支援 ・専門カウンセリングの実施 若年求職者に対するカウンセリングや就職支援セミナー等を実施 ・座学と就業体験の一体的実施 座学で社会人基礎やものづくり産業等に関する基礎知識を学んだ上で、就業体験で技能・技術を習得 ・合同企業説明会等の開催 若年求職者や女性を対象に合同企業説明会等を開催 ・地域企業の人材確保支援と地域企業の情報発信 地域企業の魅力や地域の生活情報を発信するとともに、地域企業を集めた企業説明会を実施 ・中高年求職者に対するマッチング機会の提供 産業理解に関する中高年求職者の意識開発や合同企業説明会等を実施 ・職場定着の促進 企業のメンター能力向上セミナーの実施 |
| | 人材誘致促進事業 | U・Iターンネットシステムや大学・民間が主催する就職説明会に参加し求人情報を提供 |
| | 北海道産業人材育成ネットワークサイトの運営 | 道内機関が実施する研修やセミナー、道内市町村等の人材育成支援制度の紹介、工場見学・各種体験など次世代人材の育成に取り組んでいる企業の情報を提供 |

| | | |
|-----|--------------------------|---|
| | QCサークル活動導入研修の開催 | QC手法についての基本講座とともに演習によりQC手法を体験する研修会を開催 ・道央地区（札幌市） 日程：令和元年6月20日（予定） |
| | 高校生等を対象としたものづくり企業等見学会 | 高校生や大学生等を対象とした胆振管内ものづくり企業の見学と技術専門学院での技術体験実習バスツアーを実施 |
| 北海道 | 首都圏等のUIターンイベントへの出展 新 | 首都圏等で開催されるUIターンイベントに出展し、道内ものづくり企業をPR |
| 北海道 | 大学等就職担当スタッフセミナー 新 | 首都圏等の大学就職担当スタッフに対し、道内ものづくり企業から企業概要や職場環境等を紹介するセミナーの開催 |
| 北海道 | 一般求職者に向けた企業見学バスツアー等の実施 | 離職者や学卒未就職者などの一般求職者を対象に、ものづくり企業の現場を見学 |
| 北海道 | 新規学卒予定者に向けた企業見学バスツアー・勉強会 | 高等学校、高等専門学校、大学等の新規学卒予定者及び進路担当教諭等を対象に、本道のものづくり産業に関する勉強会の開催やものづくり企業の現場を見学 |
| 北海道 | 展示会见学の実施 新 | 道内ものづくり企業が多く参加する展示会である「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」への高校生等の見学バスツアーの実施 |
| 北海道 | UIターン技術者の確保 新 | 道内企業が行う道外在住者の採用活動への支援 ・補助対象経費 事業者が負担する道外在住の求職者との面接に係る旅費 ・補助率 補助対象経費の1/2以内 |

(3) 就労環境の整備等

多様な働き手の就業促進に向けた取組を進めるほか、企業としても働きやすい環境など就労環境の整備を推進する。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|-----|------------------------|---|
| 北海道 | 多様な人材の安定就業促進事業 【再掲】 | 若年者、女性、中高年齢者といった多様な働き手のものづくり産業等への就業を支援 ・専門カウンセリングの実施 若年求職者に対するカウンセリングや就職支援セミナー等を実施 ・座学と就業体験の一体的実施 座学で社会人基礎やものづくり産業等に関する基礎知識を学んだ上で、就業体験で技能・技術を習得 |

| | | |
|--|-------------------------------|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 合同企業説明会等の開催 若年求職者や女性を対象に合同企業説明会等を開催 ・ 地域企業の人材確保支援と地域企業の情報発信 地域企業の魅力や地域の生活情報を発信するとともに、地域企業を集めた企業説明会を実施 ・ 中高年求職者に対するマッチング機会の提供 産業理解に関する中高年求職者の意識開発や合同企業説明会等を実施 ・ 職場定着の促進 企業のメンター能力向上セミナーの実施 |
| | 北海道産業人材育成ネットワークサイトの運営 【再掲】 | 道内機関が実施する研修やセミナー、道内市町村等の人材育成支援制度の紹介、工場見学・各種体験など次世代人材の育成に取り組んでいる企業の情報を提供 |
| | 「働き方改革」の推進 (ハンズオン支援) | 中小企業等の就業環境改善を促進するため、働き方改革に関する地域企業へのハンズオン支援を実施 |
| | 「働き方改革」の推進 (優良事例の普及) | 働き方改革に関する事例を調査し、優良事例集を作成するとともに、フォーラムを開催 |
| | QCサークル活動導入研修の開催【再掲】 | QC手法についての基本講座とともに演習によりQC手法を体験する研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道央地区（札幌市） 日程：令和元年6月20日（予定） |

《各取組を支える環境づくり》

(1) 東北7県との連携関係の展開

東北・北海道を一体の圏域とした新たなサプライチェーンの構築の動きを捉えた取組を効果的に展開するため、とうほく自動車産業集積連携会議（東北7県）との連携関係を引き続き展開する。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|---------|----------------------------------|--|
| (株)北洋銀行 | 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」の開催 【再掲】 | 優れた技術や製品を有する道内の中小企業、大学、支援機関や、東北など他県の企業等が一堂に会する商談会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日：令和元年（2019年）7月25日 ・ 出展予定：約230社・団体 |
| 北海道 | とうほく自動車産業集積連携会議との連携関係の構築 | とうほく自動車産業集積連携会議との連携関係を深化 <ul style="list-style-type: none"> ・ とうほく自動車産業集積連携会議への訪問による情報交換や総会へのオブザーバー出席 ・ とうほく自動車産業集積連携会議の取組への協力 ・ 東北地域における自動車関連研修会への参画 |

| | | |
|--|---|--|
| | | |
| | 「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会 inSUBARU」の開催【再掲】 新 | 東北7県との連携により、SUBARU社に道内技術を売り込む展示商談会を開催 「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会 inSUBARU」 ・開催時期：令和元年10月下旬 ・会場 SUBARU本社（群馬県太田市） |
| | 「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」の開催【再掲】 | 東北7県との連携により、トヨタ自動車をはじめ中京圏の自動車メーカーに道内技術を売り込む展示商談会を開催 「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」 ・開催時期：令和2年1月30日～31日 ・会場：トヨタ本社（愛知県豊田市） |
| | 東北地域とのビジネスマッチングの実施【再掲】 新 | 自動車生産拠点化が進む東北地域における自動車メーカーに対するビジネスマッチングの開催 |

(2) 物流の効率化に向けた取組の推進

物流コストの低減に向けて、企業へのアドバイスや共同物流のコーディネートを行う専門家配置を行う。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|------------------|-------------------|---------------------------------|
| 北海道・（一社）北海道機械工業会 | 物流コスト低減に向けた専門家の配置 | 物流コスト低減に向けた専門家を配置し、道内企業に派遣指導を行う |

(3) ものづくりの魅力のアピール

本道ものづくりの環境や可能性等の発信に効果的なイベント等を活用し、本道ものづくり産業の優れた技術やものづくりの魅力をアピールする。

| 機関名 | 事業名等 | 事業内容 |
|---|---|---|
| 北海道、（公財）自動車技術会北海道支部・関東支部、北海道EV研究開発・利活用研究会 | 次世代自動車の理解促進（イベント）【再掲】 | 自動走行やEVなど次世代自動車及び自動車産業等への理解促進を図るため、小学生及び保護者を対象に自動車の自動走行の仕組みの学習及び電気自動車の展示等を行うイベントの開催 ・日時：令和元年10月19日 ・開催地：札幌市エレクトロニクスセンター |
| 北海道・（独）中小企業基盤整備機構北海道本部 | 「札幌モーターショー2020」における道内ものづくり産業の技術等のアピール【再掲】 | 「札幌モーターショー2020」において、北海道発EV開発の取り組みをはじめとした道内ものづくり企業の技術力やものづくりの魅力などをPR ・札幌モーターショー2020 令和2年1月開催 |

※ 北海道の取組については、予算議決前の取組が含まれており、内容等が変更となる場合がある。